

けいすい

I 学期のまとめの月

The month for summarizing the first semester.

先週は雨の日が多く梅雨らしい天気となりました。特に木曜日と金曜日は大雨のため登校を心配しましたが、安全な登校にご協力いただいたことで何事もなく学校生活を過ごすことができました。

さて、6月も今日で終わり、いよいよI学期のまとめの月である7月を迎えます。学習面では各学年の内容が身に付いているかどうか大切ですが、その前に、学び方が身に付いているか確認することも大切です。

北小学校全体で共有している“学習のすすめ”には身に付けるべき学習態度として次のことがあります。

3 話の聞き方・発表の仕方

(聞く、話す、次につなげることを指導する。)

- ・友だちや先生の話は、聞こうと意識して聞く。
 - ・意見がある時には、無言で挙手をする。
 - ・自分の考えや意見は、相手に伝えようと意識して話す。
 - ・相手の話を聞いたら、それに対して自分の意見や考え、感想、質問など言う。
- (受けて返す技術を身に付けさせる。)

話し方、聞き方について全職員が共通理解をして授業を行っています。しかし、話を聞くことを身に付けることは簡単ではありません。

授業のほとんどは、聞かなければ分かりません。分からないと楽しくなく、もっと知りたいという好奇心も湧きません。集中力もつきません。話の途中で口を挟んだり、見たことをすぐに口に出したりして自分勝手に話しては我慢する力が身に付きません。学力や表現力、集中力や我慢強さ等、聞く力を付けることで多くの力を育てることができず。学校でもしっかりと話を聞くことができるように日々の授業の中で鍛えていきます。ぜひ、家庭でも子どもの話を対面してしっかりと聞くことを通して、子どもたちに「人の話を聞く」ということを教えてください。

北小 ～まなびの部屋～

6年生国語授業の紹介です。6先生の国語と算数は1組と2組が合同で行うティームティーチングの形式で行われています。今回の授業は、国語の物語の読取りの授業です。「風切るつばさ」という物語を人物の心情変化を中心に読み取っていきます。子どもたちは予習を行い、場面の人物の気持ちを友達と意見交流するところから授業がスタートします。どの子も家庭で予習をしてのぞんでいるせいか、多くの児童が授業に進んで参加できています。また、考えをまとめるワークシート、クラゲチャートをつかったことも子どもたちにとっては考えをまとめやすくなったようでした。授業の後半は、物語全体を通して、中心人物の気持ちの変化について話し合っていきます。子どもたちは自分の考えを進んで発表しようとしていました。子どもたちの考えを揺さぶるような問いかけも準備されており、それにより自分が気づかなかったことにも注目して読むことができるようになっていました。

1時間を通して授業者の話している時間が短く、ほとんどの時間が子どもたちの活動する時間でした。今回のように、子どもたちの活動時間を十分にとれるのも予習型の授業のよさです。今回の授業のよさを北小学校全体で共有し、実践していくことで子どもたちに力を付けていきます。

タブレットも他の人の考えを知る手立てとして活用されました。自分から進んで授業に参加している姿をたくさん見ることができた授業でした。

こえていく！学力向上編

Going Beyond!

Academic improvement Edition

予習型の授業を確立しようと昨年度から取り組んでいます。先週、予習型学習について研究主任から授業提案がありました。今回の授業が本校の目指す予習型授業の基本的な型となります。授業の様子は、下に掲載した“学びの部屋”をご覧ください。ここでは予習型授業が目指すものを紹介します。

【予習型授業で期待する効果】

1. 課題を把握した後、課題を家庭学習で行うため、次の時間の授業スタート段階がそろそろ。＝全員が授業に参加できる。
2. 活用と習熟の時間が授業内に位置付けられるため、児童ができない場合の指導が授業中にできる。
3. 受け身の学習にならず主体的な姿勢で学習することができる。

以上のようなことを予習型の授業では目指しています。学力の向上に、まずは自ら学びに向かうことが大切です。自ら主体的に学ぶ姿勢を身に付けられるように予習型授業を進めていきます。

